



タイ国を視察したメンバーの皆さん



産業情報支援センターの運営組織である(株)西条産業情報支援センター(愛称:サイクス)の各種情報をお知らせします。

今回は「タイ国への地場特産品輸出プロジェクト」についてお知らせします。

タイ国への愛媛県地場産品の輸出が一步前進！ 視察団の成果が着実に現れる

7月号のサイクスインフォメーションでもご紹介しましたが、サイクスでは「愛媛県地場特産品のマッチングを契機としたタイ国への多面的販路開拓プロジェクト」を、近年購買力のある富裕層が増加しつつあるタイ国にターゲットを絞り、西条市産の渋柿や日本酒、タルト等の和菓子、薬膳釜飯セット、アイスキャンデー、卵、麦みそ等の商品を輸出するための調査研究を本年度から進めてきました。

平成18年7月には、タイ国の日本食商社である神戸屋食品工業代表取締役の大山照雄氏が来西され、輸出を検討しているメンバー企業との積極的な意見交換の中で、輸出に向けた諸課題の抽出・改善を行い、現地視察に向けて各社準備を進めてきました。

タイ国へ現地視察団を派遣

去る11月27日から12月1日までの5日間、企業関係者、

（財）貿易研修センター、四国経済産業局、ジェトロ愛媛、西条市、サイクスなど総勢13名で構成する視察団を現地へ派遣しました。

今回の視察の主な目的は、商談や市場調査を行うことにより、我々の商品に対する生の意見を調査し、具体的なビジネスプランへとつなげていくことです。視察期間中、神戸屋食品工業でのミーティング、ジェトロバンコクセンター訪問、バンコク市内大手スーパーマーケット等への訪問・商談等を行い、輸出に向けた確かな手応えを感じることができました。商談では、その場で日本食フェアの開催



▲ 現地バイヤーとの商談風景

やさしい半導体教室を実施

12月26日、(株)ルネサステクノロジ西条事業所にて、市内の中学1年生を対象としたルネサス・サイクスやさしい半導体教室を開催しました。参加者は、普段入ることのできないクリーンルーム内での半導体製造現場の見学や、見学後の手作り電子ピアノの製作を通して、じっくりと半導体について学びました。

参加者からは「半導体について知らなかったことがいろいろ分かった」「クリーン・ルームは、ゴミ1つ入れないように服などがきちんと決まっていたり、部屋の温度は1年中一定に調整されているのを聞いてすごくびっくりした」などの感想が寄せられました。



▲ 電子ピアノ製作



▲ 現地で紹介した商品

今後のプロジェクトの方向性

今回の現地視察により、地場特産品の輸出に向け一歩前進したのは確かです。1月25日から2月4日までの期間、東南アジア最大規模のデパートであるバンコク市内のサイアム・パラゴンで開催される日本食フェアに、当プロジェクトの関係商品が7点出展されることになりました。その他にも、今後輸出につながる可能性のある商品がいくつか話題にあがっています。

今後、多くの地場特産品が輸出できるよう、今回構築した道筋を徐々に開拓していかうと考えています。